



大槌高校のnoteでも
行事などの様子を
発信しています！

大槌高校だより

大槌高校の学校生活や日々の様子を町民の皆さんにお伝えします！

マイプロジェクト発表会を開催しました！

4月29日（土）に大槌高校の公開授業が行われ、マイプロジェクトの発表会を開催しました。昨年度の岩手県大会に出場した2・3年生の生徒13人が、全校生徒や来場した保護者の前でプレゼンテーションを行いました。マイプロジェクトとは自分自身でテーマを設定し、情報収集や整理・分析だけで終わらず、実社会と関わりながらアクションを起こし、学びにつなげていく探究学習です。探究学習を経て、自分自身に起きた変化についてもふりかえり、次の探究や生き方や在り方につなげていきます。

発表を聞いた生徒からは「地域活動に積極的に取り組んでいて尊敬した」や、「困難なことがあってもそれを解決しようと頑張ってきた先輩の発表を聞いて、私も意欲的にマイプロに取り組みたいと思った」という感想がありました。

発表の後は、全校生徒が学年横断のグループをつくり、3年生の先輩が後輩に対して、自らのマイプロジェクトの経験をもとにしたアドバイスを行っていました。



輝く大高生



4月28日（金）に行われた高総体釜石気仙地区予選（バドミントンダブルス）を突破し、県大会出場を決めた**東梅芳樹**（3年生）さん。2年生のときに1年後の高総体で県大会出場を目標としていたこともあり、「バドミントンのメンタルについて」をテーマにマイプロジェクトを行いました。自分のマイプロジェクトが今回の結果につながったと話す東梅さんにインタビューしました。

Q. マイプロジェクトを通して身に付いた力は何ですか。

県大会に出場するという理想の自分と現実の自分の間に大きな差を感じていました。“どうして理想の自分になれないのか”、“今自分が向き合わなければならない課題は何か”について自分自身を分析し弱点を克服する力が伸びたと思います。

Q. 具体的にどんなアクションを起こしましたか？

部活動の顧問でもある近藤先生に相談して協力していただき、理想の選手とする日本代表の**桃田賢斗**選手の写真や動画と、自分のプレーを何度も何度も比較し、近づけるよう実践しました。また、大槌高校の卒業生である先輩に試合中のメンタル面についてヒアリングも行いました。体の軸を意識するようになり、フットワークが安定しました。しかし、そこにいきつくまでに**上手くいかないことがたくさんありました。**

Q. 上手くいかないとき、どうやって乗り越えましたか？

先生や先輩など周りに相談し、“課題”を明確にしました。その課題を解決するために繰り返しアクションを起こすことで乗り越えました。周りの人と関わりながらマイプロジェクトを継続することで、自分自身と向き合うことができたと感じています。バドミントンが大好きだという**気持ちがずっと根底にあったことも継続できた理由です！**

